

特定非営利活動法人 teTE (てて)

「大学を卒業して 50 年間、72歳になる迄懸命に頑張って働いてきたんやから、もうゆっくりしてもバチは当たらへんやろ～！」と現役を引退したのが一昨年末。

年を取った時に何もする事がなく寂しく暮らさなくてもいいようにと若い頃から準備してきた趣味の世界を満喫してきた一年だった。

観世流謡曲（始めて 45 年になる）、仕舞、声楽（主に日本歌曲、イタリア古典歌曲、オペラのアリア）、ピアノ、サイクリング。

それに加えて、昨年 4 月からは実年齢と体力年齢の差ができるだけ無くす事を狙って、太極拳と太極剣を同時に始めた。

これだけで、一週間が「アッ！」という間に通り過ぎて行く。
いやはや。自分で考えても節操の無い事、この上なし。
いくら「ジ～ッと」してるのが苦手だからと言ってもな～。
あまりにもいろんな事に手を出し過ぎて、謡曲以外はどれもこれも中途半端やないかッ！
年金のお陰で贅沢さえしなければ普通一般の生活はできる。
現役の頃のような強烈なストレスやプレッシャーに押しつぶされることもない。

確かに、優雅な余生やないか～！
確かに、若い頃夢見た生活やないか～！

しかし、しかしヤッ！
何か満たされないものを感じ続けている自分がいる。
「何が不満やねん？贅沢言うな！」

「せやけどな～、こんな生活でお前はホンマにエエンか～？」って。
「ほかにやるべきことがあるようやから、そう思うんとチャウカ～？」って。
「それが何やと思うねん」って。
「何か大切なもんを忘れてへんか？」って、自問自答する自分がいる。

自分自身を「回遊魚のマグロや」って言ってた自分は動きを止めてしまうと死んでしまう。

「さ～～て」と一週間ほど考えた。

人間がちゃんと生きていくには適度なプレッシャーや健全なストレスは必要だ。

「働く！」「回遊魚に戻ろう」

引退前にやっていた仕事の経験とノウハウを活かして、今まで何かにつけて自分を育て、面倒を見てくれた社会に恩返し出来たらと。

思い立ったら、速攻！！

気の合った仲間と「キャリアステージに即した様々な人生応援ツールを提供します」をキャッチコピーに、「働くぞ！応援プログラム」、「職場定着率向上・初期キャリア形成応援プログラム」、「様々な従業員支援プログラム」を構築し、NPO活動として始動した。

私の役割は

① インプレースメント・セミナーの企画・実施

（今、働いている企業・組織においてどのように働くか、どんな形で貢献するかを自分自身で見つけ出すためのセミナー）

② アウトプレースメント活動支援

（何らかの事情で会社・組織を退職し、再就職を目指しておられる人への再就職活動のためのアドバイス・カウンセリング）

* 校友の皆様の中にこのようなプログラムに興味をお持ちの方、ニーズをお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非ともご一報いただけませんか。

一生懸命お手伝いさせていただきます。

よろしくお願い致します。

昭和39年政経学部経済学科卒業

田邊 茂伸

特定非営利活動法人 teTE (てて)